

マラソン講座 7/26 楽しい科学

「楽しい科学」〔金属と電気〕というタイトルで、科学教育研究協議会の塚本先生と山口先生と木本先生が科学の世界を案内してくれました。参加した 20 名（会場：18 名、オンライン：2 名）は実技や工作を楽しく行うことができました。

まずは金属の性質について山口先生から紹介されました。その後、それぞれが 10 円玉を磨いて、“金属光沢”を出すことにチャレンジ。実際に磨き上げた結果の”キラキラ”に「こんなに光るんじゃ〜」と感動の声が出ていました。

続いて塚本先生。はじめに金属の続きということで、「延性・展性」について実演。銅線をみんなの前で引っ張ると、「え〜?!」と予想以上に線が伸びたことに会場が湧きました。

次に電気について、スイッチを利用した不思議な“おもちゃ”を披露。その不思議さにみんな頭をグルグル回転させていました。実際にその“おもちゃ”を工作する中で仕組みが理解できました。久々の工作に悪戦苦闘の姿もありましたが、お互いにサポートしあいながら、行いました。完成した後、「休み明けに子どもたちに見せよう」と楽しそうに話をしていました。



参加者の感想から



○ 10 円玉磨き、とてもワクワクしました。小学校 6 年生の水溶液で食塩を含ませたレモン水に 10 円玉を湿らせてピカピカにさせるところがあったが、PIKAL の方が、キラキラさがすごかったです。スイッチの工作は直列つなぎの指導に使えらると思えました。ありがとうございました。

○ 科学って面白い！とずっと感じた 2 時間でした。「こうなるだろう」という思いが覆されたときの「ハテナ(?)」・不思議を実感できた。スイッチの活動もあり、子どもの気持ちで学ぶことができ、本当に楽しかったです。

○ 身近なものでも発展性があり、生徒の興味・関心を惹くもので大変参考になった。

○ 今は低学年で理科とは縁がないのですが、子どもをアツと驚かせたり、学ぶ楽しさを指導する側も楽しみながら教えていく姿勢が学びたくて参加しました。参加して、子どもたちの「楽しみながら学ぶ」を体験できてよかったです。



○ 子どもの視点に立って参加することができました。タイトルの通り、科学の「楽しさ」について感じる事ができました。日頃の授業でもこのような遊び心のある実験などを取り入れてみたいと思います。

○ 今日作った工作をさっそく休み明けに披露します。それまで演出方法を練習しておこうと思いました。まずは明日学校に行ってみるみんなに見せようと思います。ありがとうございました。